

原告団

遺族・CO裁判、災害責任 追及、特集号 第二百十七号

原告団レポート

CO患者—— 酒井繁富さん

「学校を卒業して大阪に出ました。僕はトラックに乗り、夜は今でいう定時制の中学に行きましたね。」

「そこを出ると、四国に帰りました。刑務官になりました。戦争が激しくなり兵隊にとられ、軍隊生活を五年半して帰ってきました。復員したところ戦災で家もなく刑務所の小使の室で暮らしていました。三畳一間の部屋でしたよ。」

知事の要請

「国道二〇八号線が大牟田市から荒尾市へ南下し、鹿児島本線と接続しカーブする辺りを、荒尾市境崎という。そのカーブの手前から左に曲がった住宅街の中に酒井繁富さん(大正九年七月八日生まれ)の家がある。」

「私は香川県高松市の生まれです。昭和二十二年八月に大牟田市で百五十人ほどまとまって来たんです。」

「私は当時、刑務所内に服役している炭鉱労働者出身の人たちに、いろいろと炭鉱のことを聞きまわった。特別配給をもらえるのが魅力だ。特別配給をもらえるのが魅力だ。特別配給をもらえるのが魅力だ。」



昭和22、3年ごろアコーディオンをひいて、歌唱指導に社宅をまわる。

戦後の三池

酒井さんが入社した時は、三池だけで一万人以上の労働者が働いていた。特別配給があるたびに組合はまだ結成されていなかったが、各職場でこつこつと組合を築くために、職場配給委員を選び管理することになった。酒井さんは、その委員となった。

「まあ、それから組合結成の動きになるのですが、三池労働組合が最初で、四山、宮浦、結成されていきました。集会を開いても連夜みたいですから、始める前に労働歌でもうたおうと会議の中で提案しまして、アコーディオンを組合から買ってもらいました。労働歌の楽譜は東京

分裂の苦悩

「西原社宅は分裂の拠点というか、菊川武光がいたから脱落して行く人も多かったですよ。私も説得で、一軒一軒訪ねて歩きましたけど、くやしいうか淋しいというか、やりきれない気持ちでした。」

「結婚した日は、よくおぼえていますよ。昭和二十三年十一月十五日でした。酒が足りなくて、新港町まで自販車でヤミ酒を買いに行きましたよ。」

「妻ヒロ子さん(昭和四年九月一日生まれ、鹿児島出身)は、三池で働いていた兄さんが怪我をし入院したので看護にきていた。それを知った職場の人が、酒井さん組合に行っちゃい、子供達も親

後半の人生はバツタリ

会社は罰を受けよ

COガスが起因で倒れる

「これはいかんといい、四、五人に座りこみ、じっとしてました。とれくらい過ぎたでしょうか。救急隊がきて助かりました。意識がなくなったのは、天領病院に連れてからです。」

「電気が消え、煙がさあっと歩いてくる車道のレーンが見えないくらい濃いのがきました。」

0片材料線

「本線に出ると、煙が幾分すくなくなりかけたのですが、先を歩いている係員がもうフラフラしていました。彼が私を見る、上り着が、頭痛、吐気、耳鳴りなどがあつた。近くの高森病院に入院しました。翌三十九年になって労災病院に移りました」と、差別のおとすね。私と一緒に歩いていた大森さんという人も、青森をたれて、バツッと倒れました。」

「酒井さんは常一仕事で働いてたので、昭和三十八年十一月九日はいつものように作業を終えて、人車乗場の方へ歩いていた。」

「COに起因」として、酒井さんは、定年退職されたあと、大牟田の建設会社の倉庫管理の仕事に就いた。

「裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。」

苦しい生活

「COに起因して、酒井さん(昭和二十五年生まれ)、次女、美喜子さん(昭和二十九年生まれ)、長男、繁富も歩行訓練としゃべる練習をしてさん(昭和三十一年生まれ)、次男、芳幸さん(昭和三十四年生まれ)がいて、上が中学一年生で下が三歳でした。」

責任は明白

「炭鉱で三十年働きましたが、幼稚園を卒業する仕事に出た。酒井さんは労災病院に入院した。その後万田訓練所へ行き入退院をくりかえし、定年を迎えた。その間、ヒロ子さんは働いた。」

「昭和二十四年頃だと思えますが、炭鉱で埋まりました。埋まったのですが、耳はよく聞こえるんです。係員の声が聞こえて、私の埋まっているのより、トラフは大丈夫かとか、原動機は破損してないかとかいっていらんぞね。シャクにさわりましたね。」



三池闘争中の35年8月、友人の楠田栄作さんと二人で。

「酒井さんは、定年退職されたあと、大牟田の建設会社の倉庫管理の仕事に就いた。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。」

「酒井さんは、定年退職されたあと、大牟田の建設会社の倉庫管理の仕事に就いた。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。」

「酒井さんは、定年退職されたあと、大牟田の建設会社の倉庫管理の仕事に就いた。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。」

「酒井さんは、定年退職されたあと、大牟田の建設会社の倉庫管理の仕事に就いた。炭鉱は安いんですよ。裁判闘争も、十年近くは続いている。炭鉱は安いんですよ。」